



アグレ都市デザイングループ
証券コード：3467

2025年3月期 第2四半期（中間期）

決算補足説明資料

2024年11月8日



決算補足説明資料 目次

第1部

2025年3月期第2四半期実績

グランドサマリー	4
損益計算書（連結）	5
セグメント別の業績	7
貸借対照表（連結）	10

第2部

アグレ都市デザイングループについて

グループミッション	13
事業スローガン	14
ハウスバード株式会社	15
ハウジング事業	17
アセットソリューション事業	19
シナジー効果	22
今後の事業戦略	23

第3部

参考資料

東京都からの表彰	27
太陽光パネル+蓄電池	28
ソーシャルメディアマーケティング	29
日本国内宿泊業動向	30
インバウンドの状況	31
サステナビリティの推進	33
配当政策	34
会社概要	35



第 1 部

2025年 3 月期 第 2 四半期 実績

セグメント	概要
ハウジング事業	<ul style="list-style-type: none">● 24年4月より営業部を新設。4拠点に配置していた営業部門を集約したことが奏功し、売上総利益率が大幅(5.2pt)改善、売上総利益率16.7%（前期実績 11.5%）● 都心エリアへの絞り込み効果もあり、1棟平均単価は7,704万円（税抜き）に上昇 [前期 6,510万円]
アセットソリューション事業	<ul style="list-style-type: none">● 都心希少エリアの投資用不動産需要は堅調、今期引渡しに向け受注済みマンションPJも順調に進捗● 自社設計・自社施工による木造アパートPJが今期よりスタート、現在3PJが仕入れ済み、うち1PJは契約済み● 資産コンサルティングチームを新設、自社・他社の投資用不動産の仲介を通して資産コンサルティングサービスを開始
宿泊事業	<ul style="list-style-type: none">● 23年11月に 宿泊施設開業コンサルティング会社の『ハウスバード(株)』をM&Aでグループ化（100%）● 山中湖PJ（旅館業許可付き別荘）や葛飾高砂PJ（旅館業許可付き戸建て住宅）など、Agr×HBのコラボPJも開始● Airbnb との提携、金融機関との紐帯強化、税理士法人と節税コラボセミナーを共催

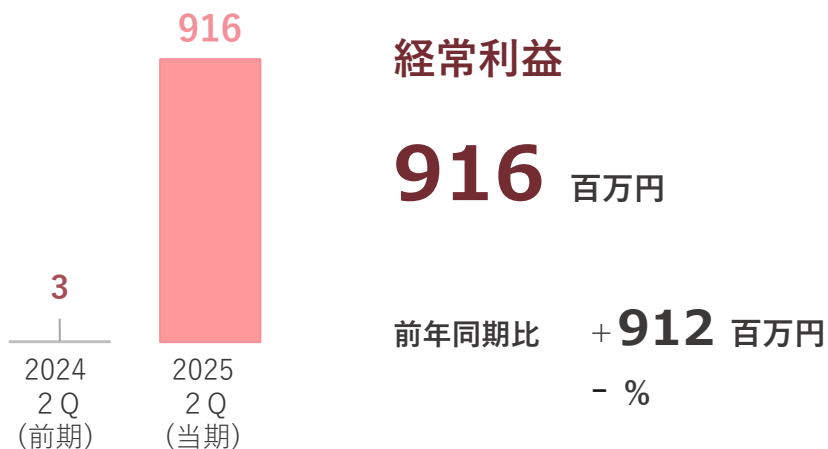
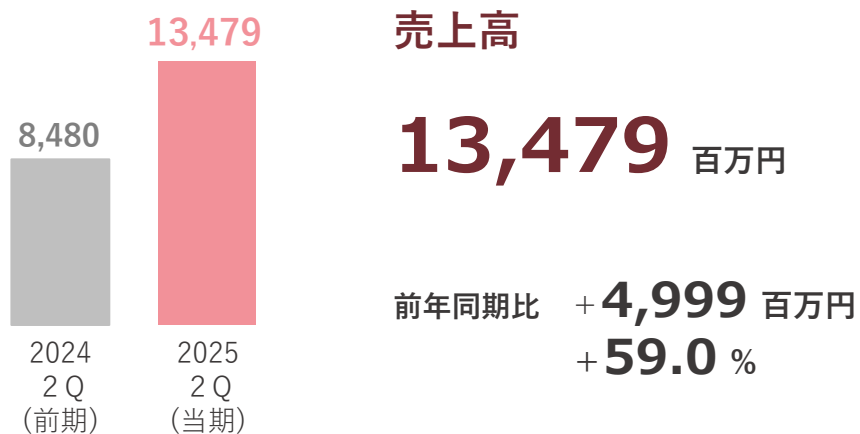
決算概要 | 2025年3月期第2四半期 損益計算書（連結）

単位：百万円

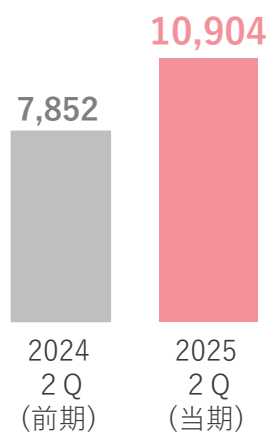
	2024/3期 2Q (単体)		2025/3期 2Q (連結)		増 減	
	実 績	構成比	実 績	構成比	金 額	増減比
売上高	8,480	100.0%	13,479	100.0%	+ 4,999	+ 59.0%
売上原価	7,321	86.3%	11,150	82.7%	+ 3,829	+ 52.3%
売上総利益	1,158	13.7%	2,328	17.3%	+ 1,169	+ 101.0%
販売費及び一般管理費	1,016	12.0%	1,247	9.3%	+ 231	+ 22.8%
営業利益	142	1.7%	1,081	8.0%	+ 938	+ 658.1%
営業外収益	6	0.1%	12	0.1%	+ 6	+ 101.2%
営業外費用	144	1.7%	177	1.3%	+32	+22.5%
経常利益	3	0.0%	916	6.8%	+912	-%
法人税等	3	0.0%	291	2.2%	+ 288	-%
親会社株主に帰属する中間純利益	0	0.0%	624	4.6%	+623	-%

- 売上高及び各段階利益ともに、前年同期比で大幅な増収・増益で着地
- 売上総利益率は13.7%→17.3%に改善、主力のハウジング事業は 11.5% から **16.7%**へ大きく改善
- 売上高販管費比率も、12.0%から**9.3%**に低下

決算概要 | 2025年3月期第2四半期 損益計算書サマリー (連結)



※2024年3月期第3四半期より連結決算に移行しております。上記前年比は参考資料となります。



売上高

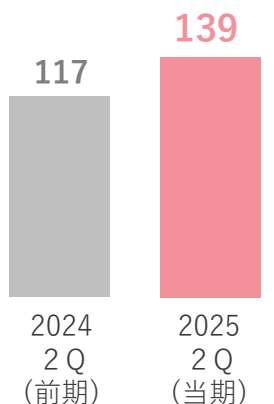
10,904 百万円

前年同期比 + **3,052** 百万円
+ **38.9 %**

■ 売上高及び分譲棟数、受注残高は前年同期比で増加
足元の反響も堅調に推移

■ 拠点間の仕入・設計・施工・販売の連携を見直したことにより、魅力ある商品企画と工程管理による販売力のブラッシュアップを実現

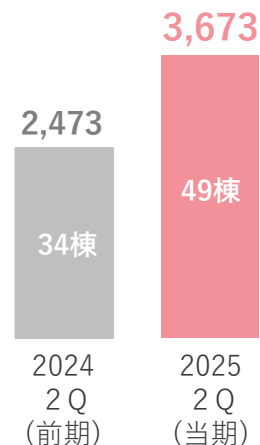
■ 今期の仕入準備高（未契約・引渡可能）も積みあがっており、繁忙期に向けた商品ラインナップも順調



分譲棟数

139 棟

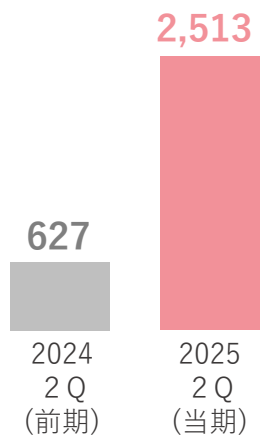
前年同期比 + **22** 棟



受注残高

49 棟 **3,673** 百万円

受注棟数 + **15** 棟
受注残高 + **1,199** 百万円

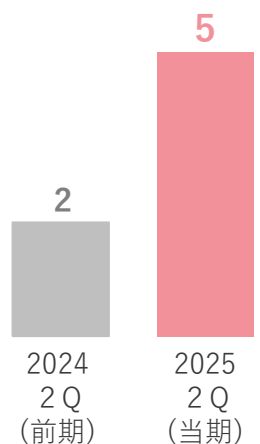


売上高

2,513 百万円

前年同期比 + **1,885** 百万円
+ **300.3** %

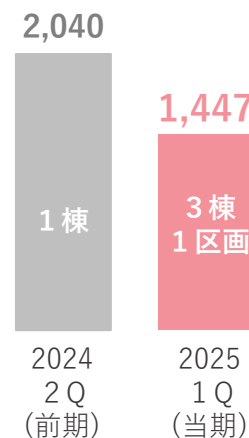
- 売上高・引渡件数は前年同期比で増加、都心マンションへの投資需要は引き続き旺盛
- 来期の仕入準備高は約52億で推移、都内の希少用地を中心に仕入準備高をさらに積み上げ予定
- 今期から取り組んでいる木造アパートPJは、販売開始と同時に成約



引渡件数

5 件 うち、収益マンション4棟

前年同期比 + **3** 棟



受注残高

4 件 **1,447** 百万円

受注棟数 + **3** 件
受注残高 △ **592** 百万円



売上高

60 百万円

- 前連結会計期間より、売上計上基準を現金主義から新収益認識基準（事業期間でコンサルティングフィーを按分）に変更
- 事業エリアは全国、フルリモートにより働く場所を選ばず優秀な人材を確保することによりトップラインを伸長



受注残高

9 件 47 百万円

- 2024年7月以降オープン of 宿泊施設実績
- 2024年 7月 Wonder Hütte
- 2024年 7月 VILLA + SECCA
- 2024年 8月 玄 Biei Villa Gen
- 2024年 8月 mion
- 2024年 8月 NOSTALGIA NASA
- 2024年10月 OMOYA総領
- 2024年10月 The Villas ～atami amazing ocean view～

単位：百万円

	2024/3期 (連結)		2025/3期 2Q (連結)		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	増減比
流動資産	24,216	96.7%	26,791	97.0%	+ 2,574	+ 10.6%
現金及び預金	6,247	25.0%	5,656	20.5%	△591	△9.5%
販売用不動産	1,385	5.5%	2,685	9.7%	+ 1,300	+ 93.9%
仕掛販売用不動産 (未成工事支出金含む)	16,228	64.8%	17,853	64.7%	+ 1,624	+ 10.0%
その他	355	1.4%	596	2.1%	+ 241	+ 67.9%
固定資産	820	3.3%	815	3.0%	△4	△0.6%
資産合計	25,037	100.0%	27,607	100.0%	+ 2,569	+ 10.3%

- 販売用不動産（完成物件）は前期末の23棟から41棟に増加
（内訳：戸建41棟）⇒うち27棟は契約済
- その他：順調な用地仕入れに伴う前渡金(土地手付金)の増加

- 今期(2025/3期)以降の
売上換算後
完売ベース **仕入準備高***は約**690億円**で推移
 前年同期は約557億円

*仕入準備高…事業用地の仕入高を現時点で 想定している販売価格(売上高)に換算した金額

単位：百万円

	2024/3期 (連結)		2025/3期 2Q (連結)		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	増減比
負債	19,043	76.1%	21,334	77.3%	+2,290	+12.0%
流動負債	14,556	58.1%	16,676	60.4%	+2,120	+14.6%
固定負債	4,487	18.0%	4,657	16.9%	+170	+3.8%
純資産	5,993	23.9%	6,272	22.7%	+279	+4.7%
株主資本	5,993	23.9%	6,272	22.7%	+279	+4.7%
負債純資産合計	25,037	100.0%	27,607	100.0%	+2,569	+10.3%

● 負債の増加は、順調な用地仕入れに伴う
有利子負債の増加によるもの

2024/3末 17,061百万円 ⇒ 2024/9末 19,292百万円 +2,230百万円

● 純資産は、主に中間純利益624百万円の加算と前期基準の
配当金支払 △345百万円による増加

● 自己資本比率は前期末の23.9%から22.7%に低下



第2部

アグレ都市デザイングループについて

2023年11月、ハウスバード株式会社をM&A 新たにグループミッションを策定

人類の共同財産を創出する。

かけがえのない日常の基盤となる場所や

時代に合わせ、最適化が必要な場所。

それから、暮らしに根付いた非日常を体験する場所まで。

3つの事業を中心に大切な人々の大切な場所を

アグレ都市デザインが創出します。



HOUSING

探究家が創る家と街

何もないゼロの状態から、土地を仕入れ、造成を行い、
図面を起こし、家と街を創り上げます。そして、それらをお客様に自分たちでご案内し、その後の暮らしをサポート。
『自社一貫体制』で心からのご満足を提供します。



ASSET SOLUTION

都市に、ちからを。

10戸～30戸程度の新築賃貸マンションの1棟売りや、中古マンション・ビルのコンバージョン及びリノベーションなど、投資家様へ新たな収益機会と収益構造を付加した商品をご提案。また、実需向けに高価格帯マンション個別住戸の買取再販も行います。



宿泊：VACATION RENTAL



1日から貸せる家

「人間らしい価値観「知性・感性・優しさ、そして自由な心を取り戻せる場所」を日本中に溢れさせる」というミッションのもと「1日から貸せる家」をコンセプトに、空き家や空き家別荘等を活用した宿泊施設の稼業支援コンサルティング及び宿泊施設の運営管理を全国に展開。

1日から貸せる家

自分にとっての別荘が、誰かにとっての「宿」になる
これからの新しい住まいの在り方



宿泊施設事例 累計実績件数：計60件（2024年10月）

強羅テラス | 神奈川県足柄下郡箱根町



HUTTE GARTENLAND – KAIZUKA | 長野県軽井沢町



常閑園 | 埼玉県本庄市



バードプレイスlog東京 | 東京都江東区



企業名 ハウスバード株式会社

代表者 浅見 清夏

本社所在地 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル31階
(清澄白河から移転)

設立 2016年9月

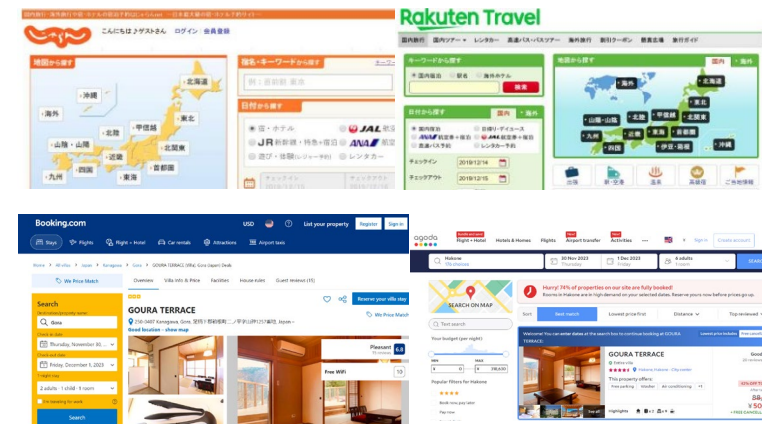
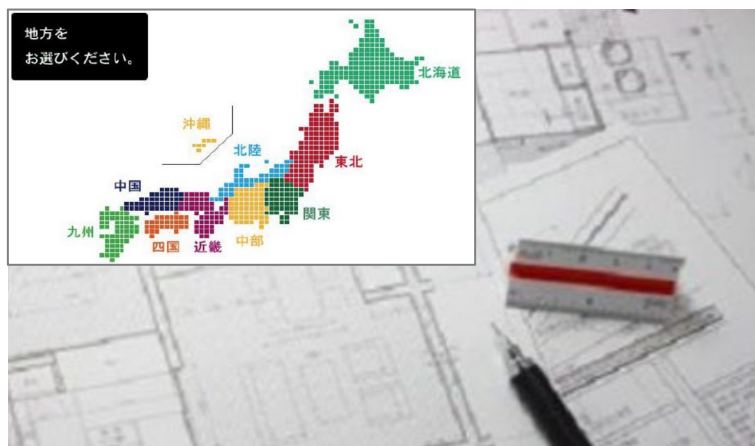
資本金 3,000千円

従業員数 28名(業務委託を含む)

事業内容 旅館／ホテルの開業支援コンサルティング、
宿泊施設の運営管理

ホームページ <https://housebirdjapans.com/>

旅館としてマッチする全国の案件に対し、物件選定から運営管理までを【一気通貫】でサービス提供



物件選定

- ◆AI活用による、予算/エリア/ニーズにマッチした物件情報の提供
- ◆旅館業許可取得に関する自社専門家による調査
- ◆購入前有料調査

プロデュース

- ◆デザイン/設計/リノベーション実施
- ◆旅館業への用途変更
- ◆施工調整、行政との協議・許可取得

運営管理

- ◆国内客/訪日客、各属性に合う予約サイトでの集客
- ◆予約管理の支援・代行
- ◆清掃管理の支援代行



2024年4月 販売部門を一元化

各支店に紐づく販売部門を「営業部」として一本化

全社の販売を一元管理できるようになった

販売部門の一元化により、

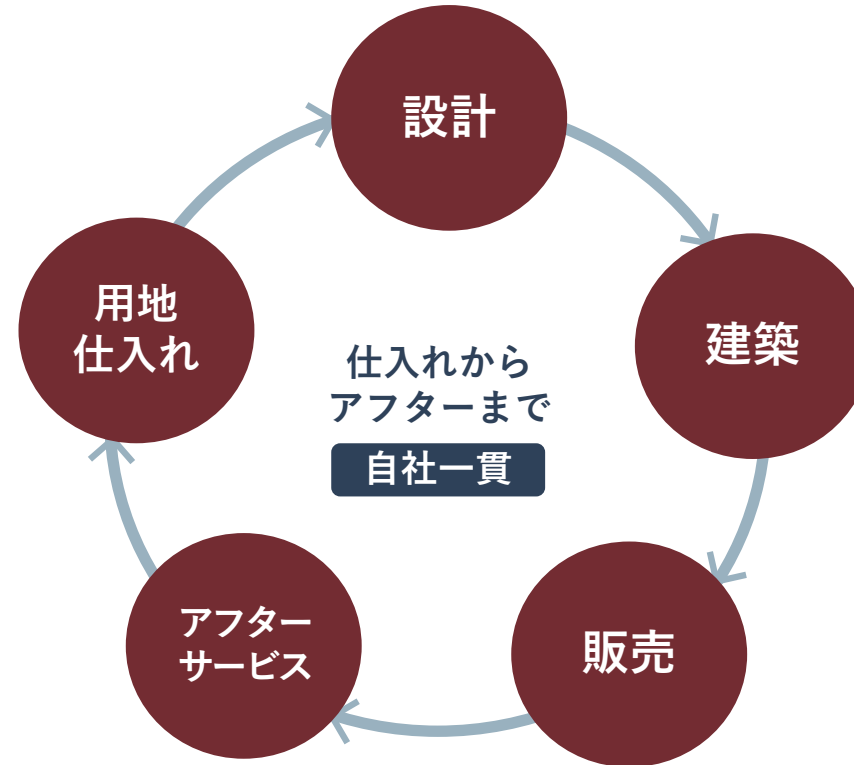
- ・ 広告宣伝活動の効率化
- ・ 仕入れの競争力の向上
- ・ 従前からの課題であった着工時期の平準化、が実現

● フィールドセールスが販売活動の始終を担う体制から、
インサイドセールスチーム、エスクローチームを設けた
協業体制へ移行

● MA・CRM機能等を備えたシステム「HubSpot」の活用
による、データ管理の推進



アグレの競争優位 = 自社一貫体制



各ステップで得た顧客のニーズを他部門にフィードバックし、より魅力的な商品開発と用地仕入れに活かすサイクル。

自社販ではご購入者の97.1%が物件に対して「満足」「とても満足」と回答*。
丁寧な接客と、建物性能・デザイン・設備仕様を中心に高い満足度を得ている。

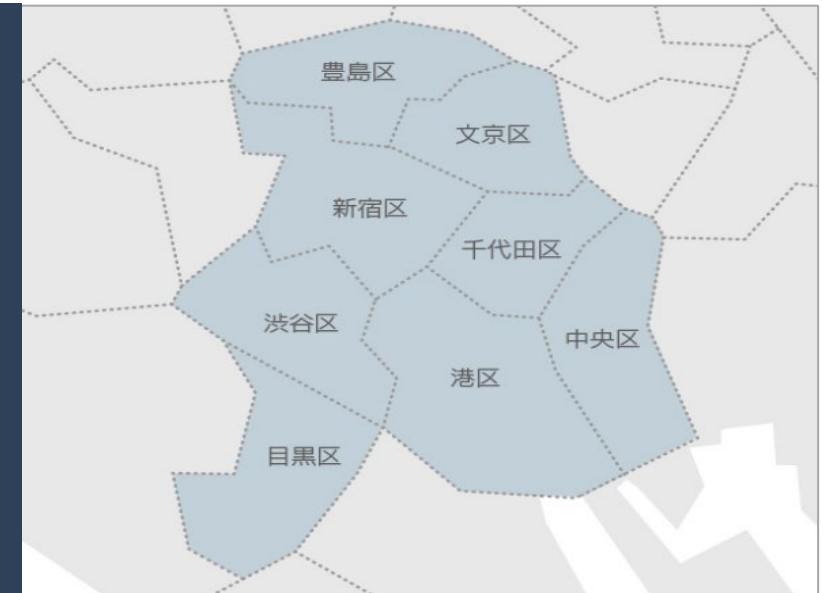
*2024/8/10～2024/8/25実施のWEBアンケート結果

一方、引渡し棟数の積み上がりに伴い増加しているアフター対応の強化が必要。アフター部門組織体制の見直しと、各種システム導入に取り組んでいる。



- 2022年3月期 収益マンションの建設・販売を本格的に開始
- これまでの実績：マンション13棟・マンション用地21区画
- 収益マンションの販売価格：5億円～20億円
- 収益アパートの販売価格：1億円～1億5,000万円
- 2024年4月 資産コンサルティングチームを新設

山手エリア等
希少エリアを
中心に
仕入れ強化





木造アパートプロジェクトが始動

アグレがこれまで行っていなかった、自社施工による
「木造アパート」を新たな投資商品としてラインナップ。

アグレシオ相模原東林間

小田急小田原線「小田原相模原」駅 徒歩8分
木造枠組壁工法／地上3階建
令和7年3月末完成予定
延床面積：188.97㎡
容積対象面積：176.94㎡
間取り：1K × 9戸（19.29㎡～20.19㎡）



2024年4月 資産コンサルティングチームを新設

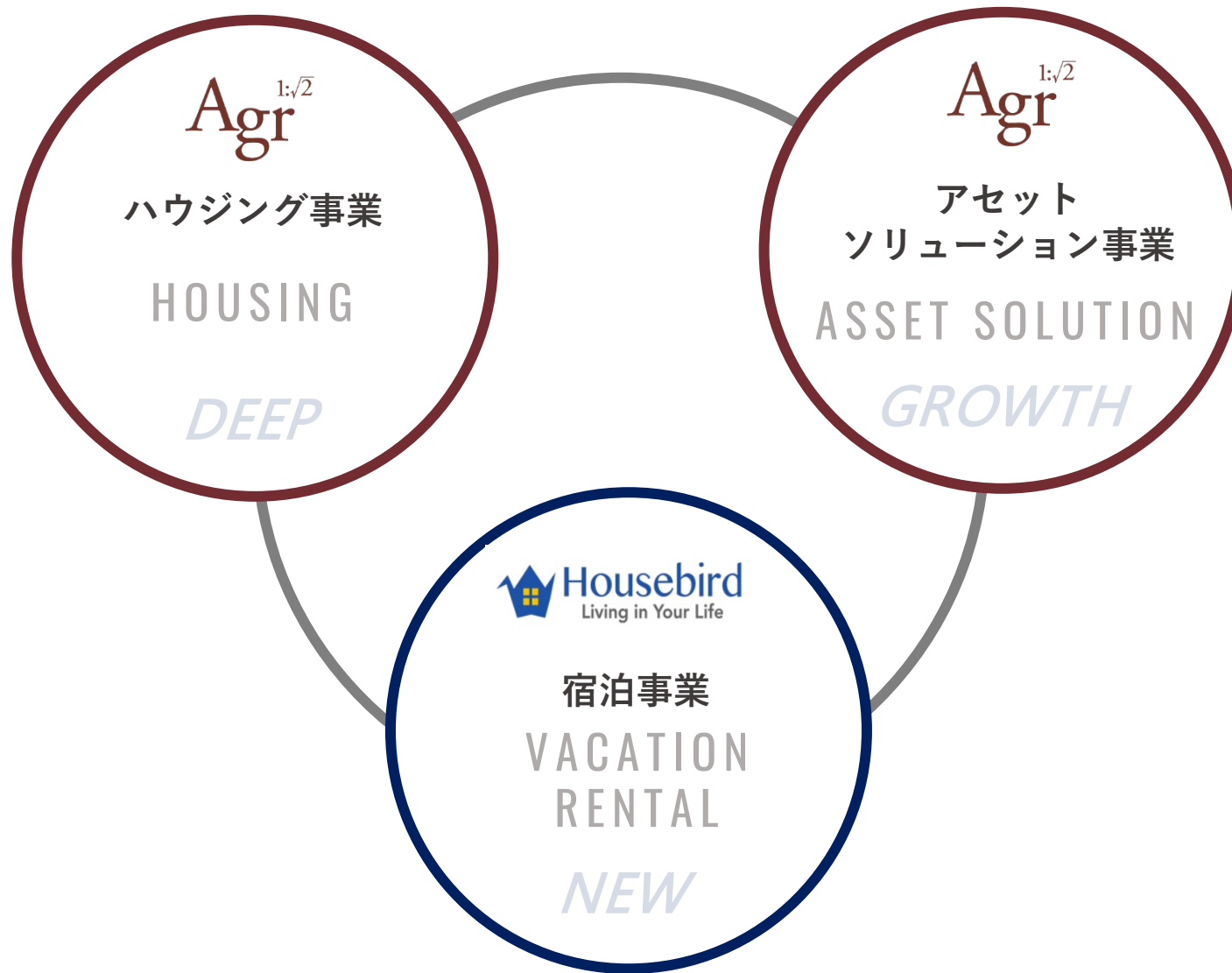
アグレがこれまで行っていなかった不動産コンサルティング
および不動産仲介サービスをスタート

ハウジング事業、アセットソリューション事業で培ったノウハウを活かし、
アパート経営で資産形成をされたいオーナー様に、中立的な立場で不動産
コンサルティングと仲介を実施。

- 中立的な立場でアパート経営と管理をサポート
- 自社および他社で購入した不動産の売却・買替を仲介
- 来場またはオンラインによる無料相談を実施

アパート経営コンサルティングサービス HP

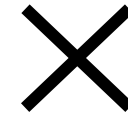
https://about.agr-urban.co.jp/asset_solution/consulting/



強力な不動産情報網

デザイン設計・施工管理技術

戸建分譲での経験豊富な人財



宿泊施設コンサルノウハウ

旅館業許可取得ノウハウ

宿泊施設運営ノウハウ



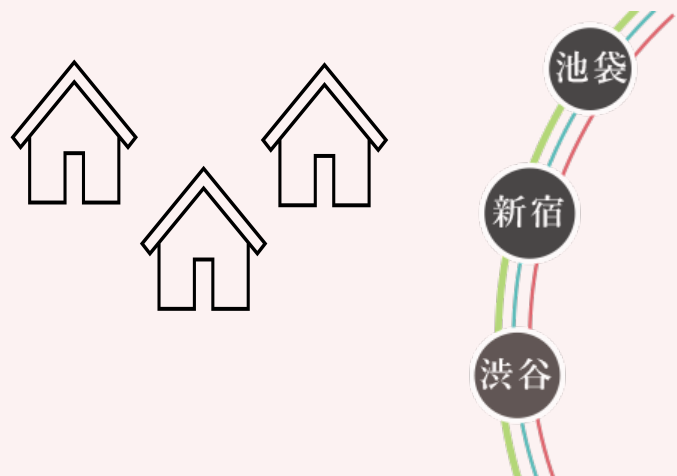
事業領域の拡大
情報・ノウハウ・人材の活用

ハウスバードとのシナジーを活かした事業、商品を展開

アグレの土地情報×ハウスバード コラボ商品

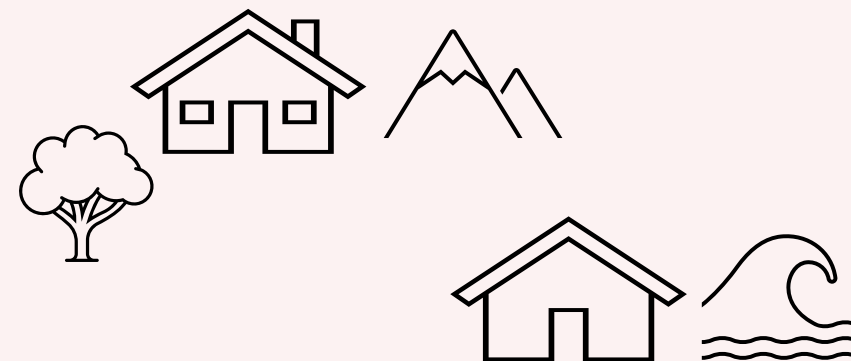
投資用戸建（旅館業許可付き戸建住宅）プロジェクトを開始

都心人気エリア（新宿・池袋・渋谷）の狭小戸建



【アグレ】仕入れ・施工力

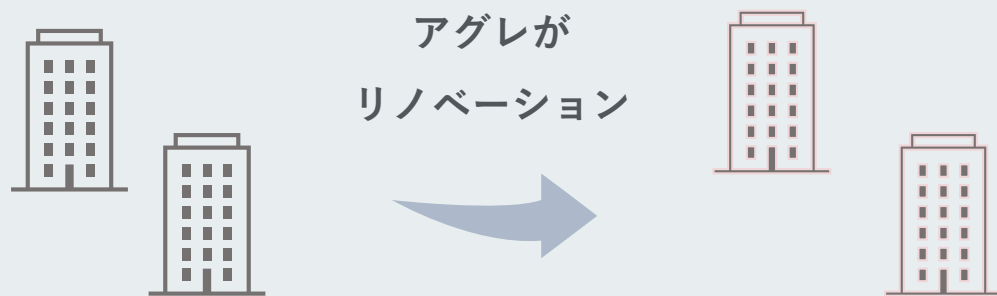
地方人気リゾートエリアの別荘(ヴィラ)仕様戸建



【HB】企画・運営ノウハウ力

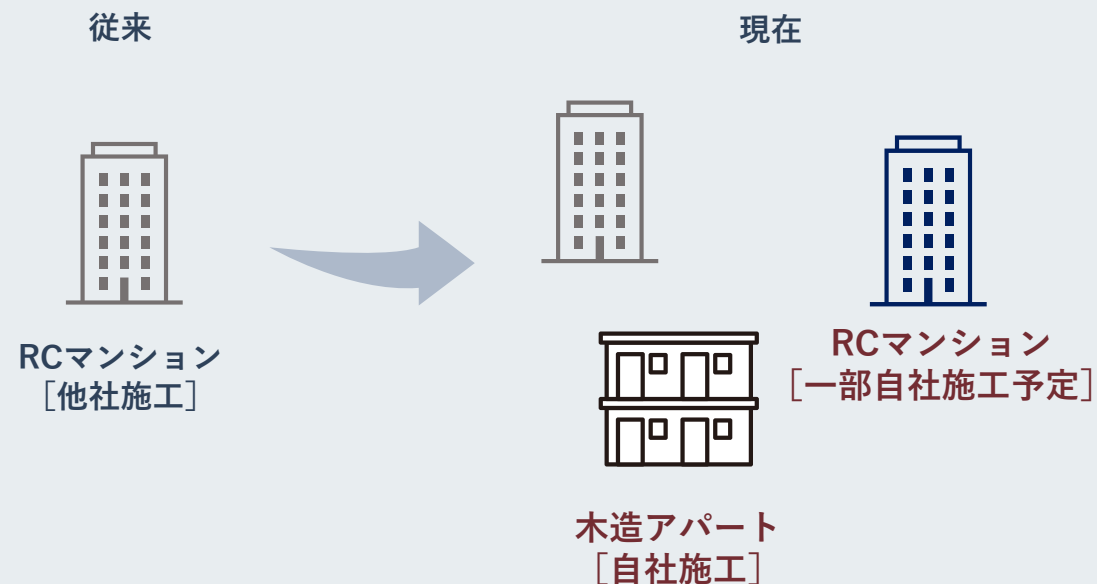
ハウスバードとのシナジーを活かした事業、商品を展開

旅館業許可付きホテルを取得 →リノベーション後に売却

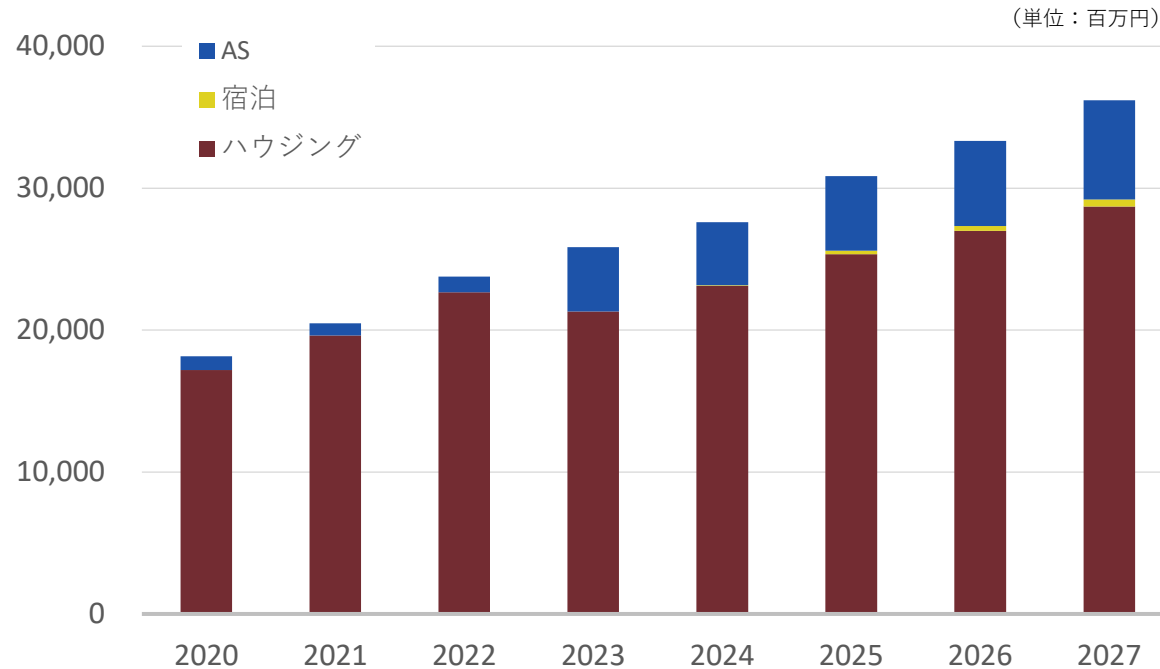


物件事例：台東区浅草、大田区西蒲田

投資商品の追加 [木造アパート、RC自社]

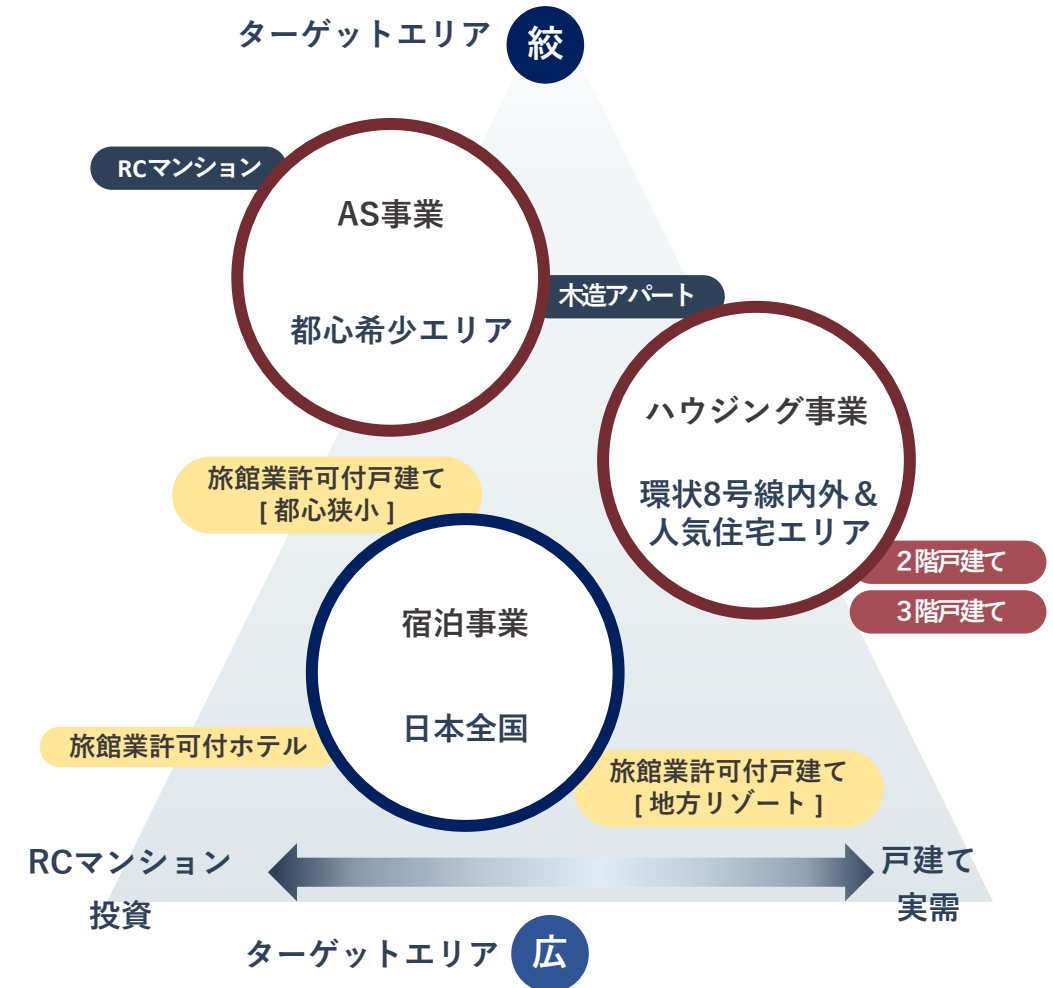


グループ売上高 積み上げ計画



- 戸建て需要はコロナ特需後の反動減から持ち直し傾向にあり、2024年4月からの成約数は前期比で大きく増加
- 宿泊事業が売上高に占める割合は低いものの、利益率の良さとターゲットエリアの広さを活かし、堅実に積み増す計画

ターゲットエリアと展開商品イメージ





第 3 部

参考資料

再生可能エネルギーの普及に向けた新評価制度「東京エコビルダーズアワード2023」で2部門を受賞

ハイスタンダード賞 再エネ設備設置量部門



報告書制度で定める再エネ(太陽光パネル) 設備量基準を
制度開始前に先行して達成している事業者に与えられる

ソーラーチャレンジ賞



前年度の再エネ (太陽光パネル) 設備設置率と比較して、
対象期間内の再エネ設備設置率を10ポイント以上増加さ
せている事業者に与えられる

ABOUT TOKYO ECO BUILDERS AWARD

東京都で2025年4月から施行される「建築物環境報告書制度*」制度の開始に先駆け、
環境性能の高い建築物の普及に取り組む意欲的な事業者を表彰している。

* 新築住宅等への太陽光発電設備の設置や断熱・省エネ性能の確保等を大手ハウスメーカー等に対し求めるもの

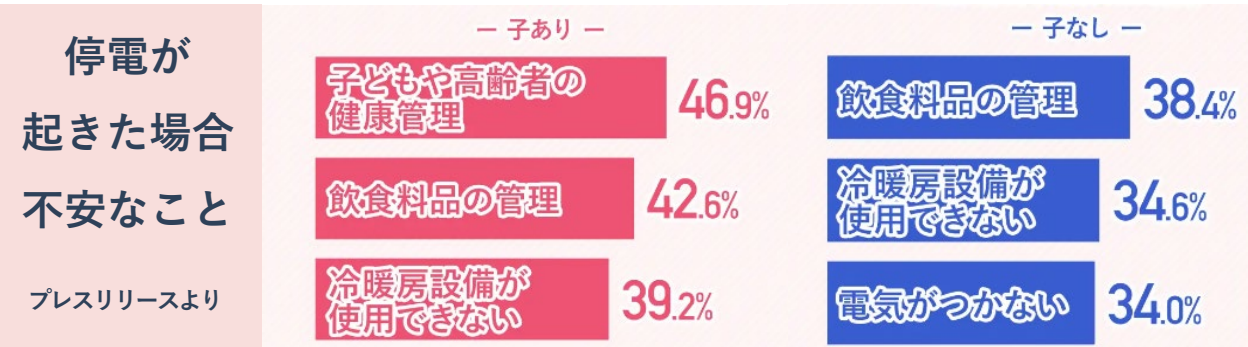
太陽光パネル



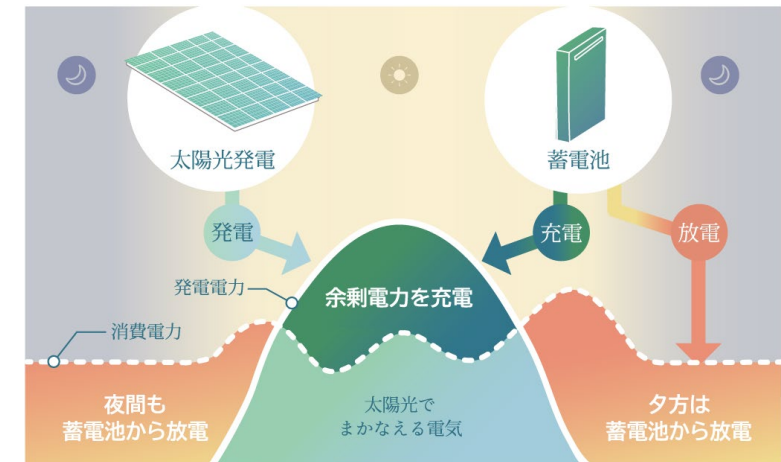
蓄電池

2階建て住戸には「太陽光パネル + 蓄電池」を標準装備

- 太陽光発電定額利用サービス「エネカリ」を採用
初期費用 0 円 / リース契約期間中は 24 時間サポート・保証対応
- 電力の自家消費率を最大化し、毎月の光熱費を削減
- 蓄電池は災害時の備えとして強い味方



太陽光パネル × 蓄電池のイメージ



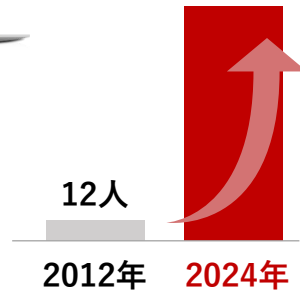
「戸建て住宅の防災」に関する調査 2023年9月8日(金)~14日(木)リンクアンドパートナーズが提供する調査PR「RRP」によるインターネット調査

Club Agr (クラブアグレ) 会員 (Eメール & LINE 会員) へ配信する未公開物件情報、会員先行 / 限定情報などを活用し、プロジェクトの早期完売に向けて取り組んでいる。

公式 Eメール会員



有効会員数
約**1,800**人



2023年11月より開始した、HP掲載物件への問い合わせ時にも会員登録を誘導する施策により、有効会員数は順調に推移。

公式 LINEアカウント



@agr-urabn

有効会員数
約**1,500**人



2023年10月より、Eメール会員向けと同等の内容を配信開始。Eメール比で開封率・クリック率が約3倍。

公式 Instagram



物件の概要紹介を中心に建築の進捗状況なども公開。
販売強化時はMeta広告も活用。

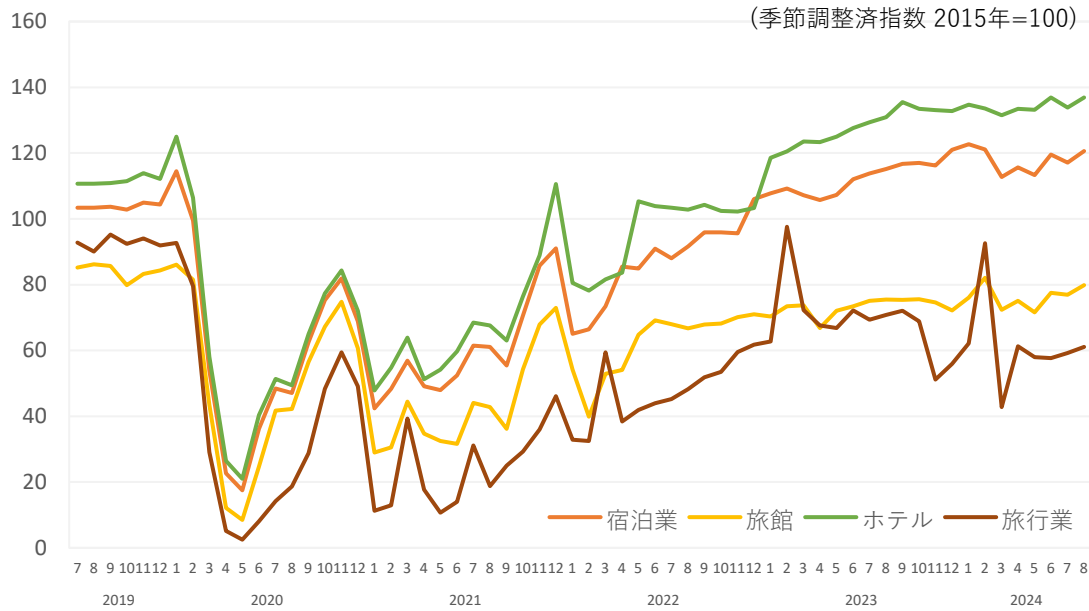
公式 YouTube



物件の周辺環境を紹介する動画を中心に公開。
内製で撮影・編集している。

宿泊市場はコロナ前を上回る水準に完全回復し、上昇傾向が続いている。2030年予測では東京のホテルが不足。

宿泊業・旅行業の推移



出典：経済産業省 第3次産業活動指数

宿泊業は2024年8月は2019年8月を17%上回る水準。

一方、旅行業では2024年8月は2019年8月を32%下回っており、宿泊のみ、とりわけホテルの需要が高い。

2030年 ホテル・旅館 稼働率予測

ホテル

(2030年の稼働率による降順)
(単位: %)

	ホテル		
	2017	2020	2030
都市圏	81.2	92.8	96.0
地方	68.2	71.2	71.7
全国	73.2	79.5	81.1
大阪府	86.5	104.1	111.1
東京都	83.9	99.6	105.5
京都府	81.7	95.5	100.2
沖縄県	76.9	85.8	93.4
福岡県	79.0	86.7	92.6
千葉県	78.0	85.9	86.9
北海道	71.7	79.5	85.8
愛知県	78.3	84.8	84.7
神奈川県	79.2	83.7	82.1
奈良県	69.1	75.0	79.2
...
島根県	74.2	73.1	68.4
...
山形県	64.8	64.0	60.0
宮崎県	60.0	60.6	58.4
長野県	56.7	58.3	57.7
福島県	60.1	59.3	55.6
新潟県	56.9	56.5	53.5

(注) 赤色網掛けは85%以上。
全都道府県の稼働率は本稿末尾の府図表に掲載。
(資料) 観光庁「宿泊旅行統計調査」、株式会社オータパブリケーションズ「週刊ホテルレストラン(2018年6月1日号、2018年12月7日号)」等を基に作成

旅館

(2030年の稼働率による降順)
(単位: %)

	旅館		
	2017	2020	2030
都市圏	39.5	42.1	41.6
地方	37.2	38.2	37.7
全国	37.5	38.8	38.3
大阪府	59.6	74.4	81.1
東京都	57.2	67.2	70.7
大分県	47.6	53.6	58.8
北海道	48.0	53.5	58.2
沖縄県	43.6	48.8	53.3
...
山形県	36.5	36.4	34.6
和歌山県	31.9	33.7	34.5
...
福岡県	29.9	29.7	28.2
千葉県	29.8	29.2	27.1
福井県	27.8	27.4	25.6
長野県	26.1	26.4	25.6
徳島県	24.4	25.2	25.1
新潟県	26.0	26.0	24.7
茨城県	25.6	25.2	23.5

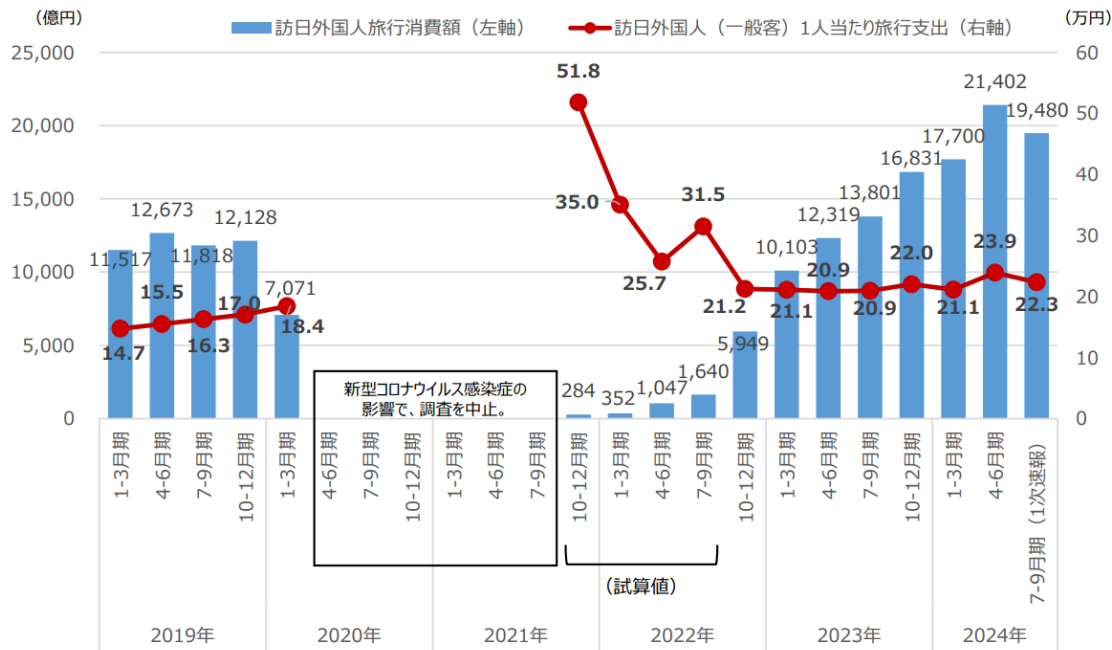
(注) 全都道府県の稼働率は本稿末尾の府図表に掲載。
(資料) 観光庁「宿泊旅行統計調査」等を基に作成

ホテル：東京が105%超(供給<需要)、千葉・神奈川も80%超で上位

★東京の宿泊施設において、**多人数宿泊可能な部屋は供給不足**
(6人以上泊まれる宿泊部屋<6人以上訪日客)

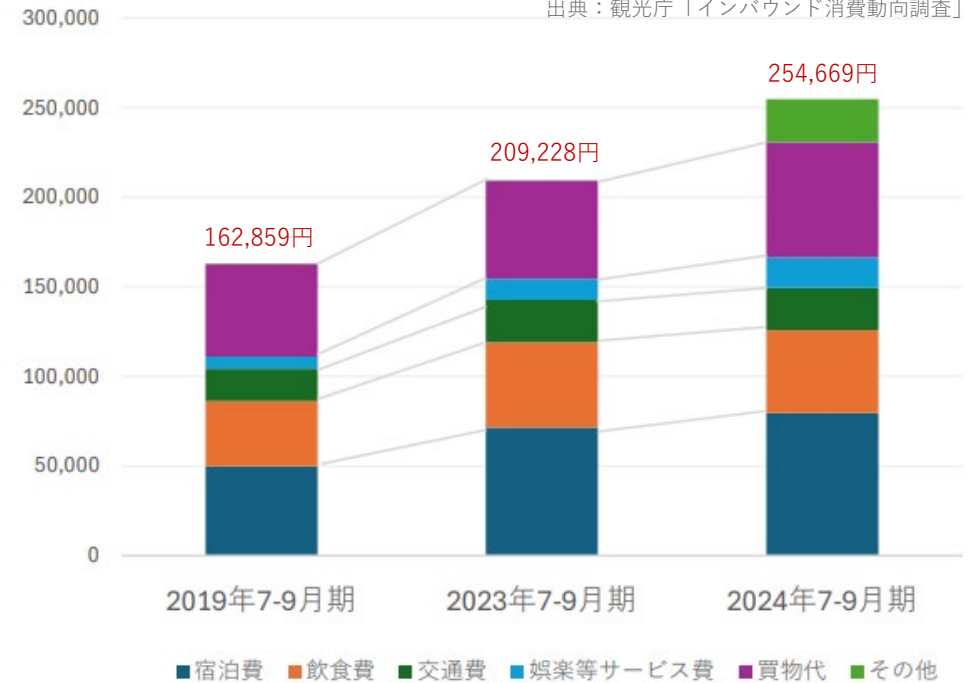
訪日外国人旅行者による消費額の推移

出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」より



費目別1人1回あたり旅行消費単価

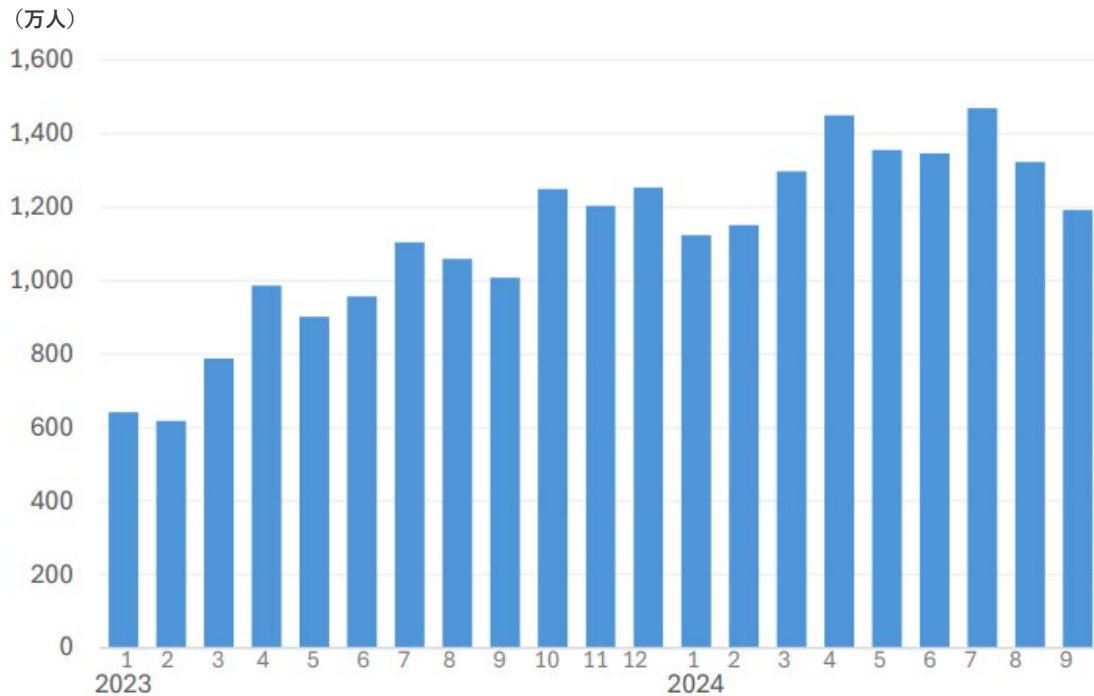
出典：観光庁「インバウンド消費動向調査」より



- 2024年7-9月期の訪日外国人消費額は1兆9,480億円で、**前年同期比41.1%増、2019年同期比64.8%増**
- 費目別割合をみると、**宿泊費、娯楽等サービス費、買い物代、その他等が上昇**
- 訪日外国人(一般客)一人当たりの旅行支出は、**25万5千円となり前年同期比25%増、2019年同期比64%増**
(2019年7-9月期は16万3千円) ※**平均泊数が伸びた**ことや円安・物価上昇の影響等が考えられる

外国人延べ宿泊者数の推移

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より



都道府県別外国人延べ宿泊者数（2024年8月）

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より

地域	都道府県	割合	延べ宿泊者数 (万人泊)
三大都市圏 TOP5	東京都	14.3%	931.6 万人泊
	大阪府	7.6%	495.7 万人泊
	千葉県	4.4%	288.8 万人泊
	京都府	4.2%	274.1 万人泊
	神奈川県	3.4%	224.0 万人泊
地方部 TOP5	北海道	7.2%	470.7 万人泊
	沖縄県	5.2%	337.9 万人泊
	静岡県	3.9%	253.8 万人泊
	長野県	3.7%	243.5 万人泊
	福岡県	3.3%	216.7 万人泊

- 2024年9月の外国人延べ宿泊者数は**1,193万人泊**で前年同月比+18.3%、**2019年同月比+44.4%**。
- **宿泊先地域は三大都市圏のみでは約3.5割**、2023年時の約7割と比較すると地方部への回帰傾向も見られる

ESG	取り組み事例	関連するSDGs
<p>Environment 環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社設計・自社施工の一貫体制によるメンテナンスフリー住宅の推進 + 長期延長保証(最大20年) ・ 全棟「ZEH相当の断熱性能 + 省エネ水準」 ヒトに、環境に配慮した住宅を供給 ※当期ZEH水準住宅供給率100%とした目標を前倒しで達成 ・ 電気自動車 (EV・PHV) の充電用屋外コンセントを全棟に設置 	
<p>Social 社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して長く住める、確かな家づくり (優れた耐震性能・構造計算の全棟実施) ・ 年齢や性別、国籍などによって偏りのない働き方への取り組み ・ 評価制度・評価手法の見直しによる働きがい ・ 中古戸建/空き家を宿泊施設として活用 	
<p>Governance ガバナンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンス委員会の定期開催 ・ 外部直通の内部通報 (ホットライン) 設置 ・ サステナビリティ委員会設置 【カスタマーハラスメント防止ガイドラインを策定中】 	

これまで配当性向30%を標榜しておりましたが、今後はこれを35%に引き上げを表明
 安定配当の継続を基本方針として、当期純利益の35%（配当性向35%）を配当額の目途とする

	2023年3月期	2024年3月期 (前期)	2025年3月期 (今期)
1株当たり当期純利益 (円)	224.66	151.78	220.76
1株当たり配当金 (円)	78	60	78
配当性向 (%)	34.7	39.5	35.3

株主優待

目的：当社株式の魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくこと

対象：毎年3月31日時点の当社株主名簿に記載もしくは記録された1単元以上保有の株主様

基準日時点での保有株数	株主優待特典
100株（1単元）以上保有の株主様	Quoカード（1,000円）

アグレ都市デザイン 会社概要

会社名	アグレ都市デザイン株式会社（Agratio urban design Inc.）			
設立	2009年4月1日			
資本金	390百万円			
所在地	東京都新宿区西新宿二丁目6番1号 新宿住友ビル31階			
役員構成	代表取締役 取締役 取締役 常勤監査役 監査役 監査役	大林 竜一 柿原 宏之 佐々木 榮茂（社外） 黒川 純一 中野 明安（社外） 戸澤 摂子（社外）	専務執行役員 専務執行役員 常務執行役員 常務執行役員 執行役員	唐川 範久 伊藤 一也 平井 浩之 池端 隆明 野村 公二
役職員数	133名			
発行済株式総数	5,754,000株			
株主総数	15,304名（2024年9月30日現在）			

2024年11月8日現在

記載情報について

- ・提供情報のうち、将来の業績等に関する見通しは歴史的事実ではありません。
資料作成時における一定の前提に基づいて作られていますので、実際の業績は多様な不確定要素により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることご承知おきください。
- ・本資料の目的は、当社への理解を深めていただくための一般的なIR情報を提供することであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資に関する決定は、情報利用者ご自身の判断に基づいて実施願います。
- ・掲載情報については、細心の注意を払っておりますが、内容についていかなる保証を行うものではなく、本資料の情報を使用したことによって生じたあらゆる障害や損害についても当社は一切責任を負うものではありません。